

40歳からの ワンコイン 演劇講座

500円



未経験者、初心者、大歓迎!!

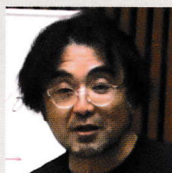
「演劇かぁ。一度はやってみたかったなぁ」というアナタ、一緒に遊ぶチャンスです。芝居は“PLAY”、遊びも“PLAY”。大人になった今だからこそ楽しめる「表現あそび」で、気分をリフレッシュさせませんか？

日時 2024年 **8月11日(日)**

10:00 ~ 16:00 (昼休憩含む)

場所 ピッコロシアター 中ホール

講師 **瀬口昌生** (せぐちまさき)
〈大手前大学建築&芸術学部教授/
元兵庫県立ピッコロ劇団員〉



募集人数 先着 20名 (原則40歳以上)
(定員に達し次第締め切ります)

参加費 500円

*ピッコロサポートクラブ会員1割引

2024ピッコロフェスティバル体験企画
ピッコロ演技教室

まわしよみ新聞×演劇ワークショップ

壁新聞を 演じてみよう



壁新聞づくりと演劇を組み合わせた
ユニークなワークショップ!

「まわしよみ新聞」は、高校の国語教科書に掲載されるなど、国内外の教育現場で取り組まれています。みんなで作った壁新聞を、みんなで話し合っ演劇化! みんなで演じます。

日時 2024年 **8月18日(日)**

10:00 ~ 16:00 (昼休憩含む)

場所 ピッコロシアター 中ホール

講師 **陸奥賢** (むつさとし)
〈まわしよみ新聞考案者/
コムズ・デザイナー〉



三坂賢二郎 (みさかけんじろう)
〈兵庫県立ピッコロ劇団員〉

募集人数 先着 20名 (高校生以上)
(定員に達し次第締め切ります)

参加費 一般 1,000円 高校生 500円

*ピッコロサポートクラブ会員1割引



お申込み
お問合せ
電話、メール、専用フォームのいずれかでお申し込みください。
メールの場合は、タイトルを「ワンコイン」または「壁新聞」として、
必要事項 ①氏名(フリガナ) ②郵便番号 ③住所 ④電話番号(FAX)
⑤メールアドレス ⑥年代(たとえば60歳代など) をご記入の上、
お申し込みください。

お申込み
専用フォームは
こちらから→



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

ピッコロシアター

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町 3-17-8
9:00 ~ 21:00 月曜休館 (祝日の場合は翌日)

TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943
メール: theater@hyogo-arts.or.jp

40歳からの ワンコイン 演劇講座 500円

俳優のトレーニングなどで用いられる「シアターゲーム」を通して、参加者の皆さん同士でコミュニケーションをとりましょう。

表現することの楽しさや面白さを体感！

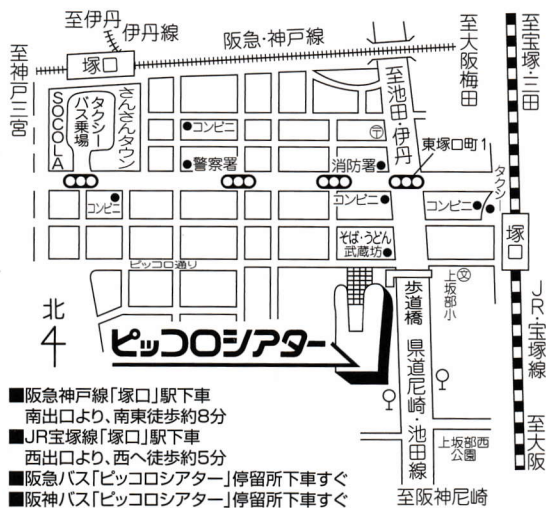
〈内容〉

- ・シアターゲームで楽しみながら体と脳を動かす
- ・グループに分かれて簡単な表現ゲームをする
- ・コミュニケーションの楽しさを実感してもらう



〈昨年の参加者の感想より〉

「少しずつ内容がレベルアップするのでついていけました」
 「知らない人とわいわいやるのはとてもわくわくする時間でした」
 「はじめての演劇体験でした。即興でお話や流れができていくことが大変のしかったです」
 「来年もぜひ友人を誘って参加したいです」



- 阪急神戸線「塚口」駅下車
南出口より、南東徒歩約8分
- JR宝塚線「塚口」駅下車
西出口より、西へ徒歩約5分
- 阪急バス「ピッコロシアター」停留所下車すぐ
- 阪神バス「ピッコロシアター」停留所下車すぐ

兵庫県立尼崎青少年創造劇場〈ピッコロシアター〉

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町 3-17-8
 TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943
<https://piccolo-theater.jp>
 9:00~21:00 月曜休館（祝日の場合は翌日）

2024ピッコロシアターフェスティバル体験企画 ピッコロ実技教室

まわしよみ新聞×演劇ワークショップ 壁新聞を 演じてみよう

他者と交流することで視野が広がる！

新聞記事を紹介することでプレゼン力アップ！

ニュースの当事者の気持ちを考えることで想像力アップ！

想像したことを身体を使って演じることで表現力アップ！

チームワークの大切さや集団創造の楽しさを体感！

〈内容〉

-まわしよみ新聞（壁新聞づくり） 約2時間

持ち寄った新聞をまわし読み、気になる記事をスクラップ！記事を紹介し、感想を出し合う。記事を大型紙に貼りつけ、見出しなどを書き込んだら、壁新聞完成！

-演劇ワークショップ（壁新聞を演劇化） 約3時間

グループごとに壁新聞から記事を選び、ニュースから発想したセリフや動きを考え、短い演劇として稽古・発表！



〈昨年の参加者の感想より〉

「世代を越えて関わることができて有意義な時間でした」
 「決められたセリフや動きをするだけでなく、アドリブで受け答えすることとても大切だと思った」
 「知らない者同士で仲良く作り上げる楽しい体験。また参加したい」
 「年代が違ったけれど、話し合ってひとつの良い劇が作れてよかった」